

# エル・ネット「オープンカレッジ」 News

VOL.7 2001.8.15 発行

発行：高等教育情報化推進協議会 東京都港区虎ノ門1-17-1視聴覚ビル内 TEL：03-3591-2186 URL:http://www.opencol.gr.jp

## 異文化コミュニケーション

### 小中陽太郎 中部大学教授に聞く

今回は、中部大学講座「異文化コミュニケーション」をご担当の小中陽太郎先生にお話を伺いました。この講座は、本年度遠隔公開講座モデル事業の一つで、石川県の事業とリンクしています。エル・ネットでは、『腹芸の研究』（8月30日放送）と『笑顔の研究』（9月6日放送）の2回が放送されます。その後、9月7日に、小中先生に石川県立社会教育センターで、石川県民大学の講座として講義をしていただくことになっています。講義はビデオ収録され、後日、石川県教育センター（VSAT局）から石川県の特別講座として放送されますので、石川県民大学以外の方もこの講義を視聴することが可能です。

小中先生と石川県民大学の受講生にとっては、メディアを通じての授業と対面授業の両方を体験できることになります。石川県民大学での講義では、

エル・ネットでの授業を踏まえての質疑応答と源氏物語のコミックの英訳を題材にした講義を行う予定です。エル・ネットで放映されるテレビ画面での授業は、知識の伝達において押し付けがましいところがなく、授業も比較的淡々と進みます。また、受講生にとっては、先生から「指名される」ということもありません。ただし、先生にとっては、受講生がテレビ画面を通して、どのように知識を得て、どのように感動をしたかがわかりません。それに対して、対面授業では、直接先生と受講生がコミュニケーションできることとなります。

さて、この「異文化コミュニケーション」について、今回のエル・ネットの授業では「腹芸」と「笑顔」の研究を通して考えます。後半の「笑顔」の研究では、「女性ニュースキャスターが番組のどこで笑顔を見せるか」についての日米比較などを手がかりとして、それぞれの国民性やその文化的背景を見つけ出していきます。また、「笑顔」だけでなく、様々なボディランゲージやファッション、そして「泣き顔」なども取り上げられます。

文化のグローバル化が進む近年において、伝統的な文化の個性が失われつつあると言われております。人と人がコミュニケー



ションをしていく時に、それぞれの文化を理解しておかないと、大変な誤解が生まれてきてしまう可能性もあります。しかし、そのような文化的な摩擦は、「コミュニケーションをしていきたい」という人間の普遍的な思いから生まれてくるのではないのでしょうか。

今回の一連の講座では、まさに小中先生と石川県との「異文化」が遭遇します。そのような「異文化」をも体験しながら、「異文化コミュニケーション」を学習してみたいかがでしょうか。そして、そこで得たコミュニケーションの奥深さを活用して、自分なりの発信をしながら、コミュニケーションを拡大し、自分をクリエイティブしていくことが、生涯学習の目的でもあります。

なお、ジョン・レノンとお会いしたこともある小中先生は、教材として、彼の曲「イマジン」を流したいとのご希望でしたが、著作権の問題から、そのご希望に沿うことができませんでした。視聴覚の特性を生かした講座提供の体制を整えていくことが、これからのエル・ネットに期待されています。(五十嵐牧子)



8月8日文部科学省での収録風景より

## ◆長崎大学

講座：まちづくりと生涯学習（新田照夫助教授）

- テーマ：①地域活性化とまちづくり（ ）  
 ②市民参加のまちづくり（ ）  
 ③まちづくりの担い手育成事業と新しい生涯学習システムの創造（ ）  
 ④地域生涯学習と大学（ ）

- 放送予定：①9月11日（火）10：00～11：30  
 ②9月13日（木）10：00～11：30  
 ③9月15日（土）14：00～15：30

④9月29日（土）14：00～15：30

地域活性化のためのまちづくりは、大都市への一極集中を推進した考え方ではすすめることができず、新しい論理を必要とします。特に、環境・福祉・地域経済活性化といった問題の解決には、地域住民一人一人が高い公共的意識を持ち、さらに、地域の歴史・文化や現状の地域課題について十分理解することが求められています。また、このような地域活性化の担い手を育成する生涯学習システムを創造し、新しい公教育の改革も必要となってきました。この講座では、それらの問題について、4回シリーズで考えていきます。

## ◆筑波大学

講座：家庭と地域の教育力③

テーマ：親と子の心の健康（庄司一子助教授）

放送予定：9月14日（金）10：00～11：30

近年、特に問題になっている児童虐待。様々な社会の変化を背景に、親と子どもがどのように関わっていけばよい

のかについて、改めて考えていかなければなりません。親と子どもが関わっていく中で、どのようにお互いが成長していくのでしょうか。そしてそれに関連して、心の健康はどう保っていけばよいのでしょうか。実際に子育て真っ最中の方をはじめ、子育てに関心のあるすべての方に、適切な方向性を示唆していきます。

## ◆図書館情報大学

講座：変容する社会と現代文学①

テーマ：変容する家族（吉本ばなな『キッチン』を中心に）（黒古一夫教授）

放送予定：9月15日（土）10：00～11：30

本講座では、現代社会がもたらしている様々な問題を、「変容」という形で表現してきた現代作家の作品を通して、4

回のシリーズで考えていきます。

第1回目は、吉本ばななの処女作『キッチン』。そこに、現代の家庭のどのような変容を見出すことができるのでしょうか。離婚（家庭内別居）、シングルマザー、少子化、家庭内暴力、親子の断絶など、現代の家庭をめぐる社会問題について、『キッチン』を読み解きながら、その現象を考えていきます。

## ◆十文字学園女子大学

講座：女性と情報

テーマ：歴史を女性の視点でみなおす③

（皆川美恵子教授／溝口睦子講師）

放送予定：9月21日（金）10：00～11：30

過去の歴史や人物の中で、女性はどのように描かれてき

たのでしょうか。また、女性の視点から歴史を見直すとどのようなことがわかるのでしょうか。本講座では、古代、聖徳太子の時代の推古天皇、そして江戸時代、恋のために放火をした八百屋のお七を取り上げます。彼女たちの人物像に焦点を当てることによって、今までの歴史の事実に対する考え方が変わるかもしれません。

## ◆新潟大学

講座：ビジュアル腎臓病「慢性腎不全」①

テーマ：発見と診断

（下条文武教授／内山聖教授／山本格教授）

放送予定：9月29日（土）16：00～17：30

腎臓は、代謝過程で生じた老廃物や体に不要な低分子物質が血液で運ばれて、それを濾過し、尿として排出する機能を持っています。そこでは、体に必要なものと不必要な

ものを分別し、必要なものを必要な量だけ体に確保するという巧妙な制御が行われています。本講座では、ゆっくりと腎臓の機能が低下してゆく「慢性腎不全」について、4回シリーズで講義します。

第1回の「発見と診断」では、それらの腎臓病がどのように発見され、診断されているのかを腎臓の構造や機能について概説しながら、模擬患者例や大人と子供の違いなどを説明します。

## ◆武蔵大学

講座：衛星通信利用による武蔵大学公開講座

テーマ：①文化人類学とは（小川正恭教授）

②文化の多様性（ ）

③文化の変化と適応（ ）

- 放送予定：①10月5日（金）10：00～11：30  
 ②10月12日（金）10：00～11：30  
 ③10月26日（金）10：00～11：30

「文化人類学」とは、どのような学問でしょうか。世の中には様々な文化が存在していますが、その多様性は計り知れません。本講座では、文化人類学がどのような学問分野であるか、特に少数民族がどのようにして自分たちの文化を守ってきたのか、そして欧米社会の影響を受けながら、伝統的社会やその文化がどのように変化していくのか、などを学びます。多様な文化を知ることによって、自分たちの文化や社会の変化についても、新たな視点で見直すことができるでしょう。

### ◆群馬県立女子大学

講座：語りかける③

テーマ：「過去」に語りかける－タイムとラベルの謎（植村恒一郎教授）

放送予定：10月6日（土）10：00～11：30

もしも、タイムマシンに乗って「過去」へ行けるとしたら、どの時代へ行きますか？そして、昔の自分や自分の周りで起こ

った出来事を変えられるとしたら、何をしますか？しかし、あなたをめぐる「過去」を変えらるということは、過去を変えようと企てた現在のあなた自身の存在を否定することになります。結局、私たちは様々な「過去」を背負いながら生きている、ということでしょうか。本講座では、「過去を変える」タイムトラベルのパラドックスを哲学的に考えます。

### ◆東京外国語大学（AA研）

講座：アジア－多様な文字へのまなざし④

テーマ：文字から見た中央アジアの近現代史（菅原純研究員）

放送予定：10月9日（火）10：00～11：10

現在の中央アジア諸国や中国西部、新疆ウイグル自治区などでは、どのような文字が使われているのでしょうか。伝統的の文字文化やその変遷は、その地域の歴史と深いかわり

があるようです。特に、少数民族が多く住んでいる地域では、各民族の文字文化はそれぞれの歴史とかわりながら、独自の道を歩むに至っています。本講座では、前半で伝統的の文字文化の概要、後半で各「民族」の文字、さらにはインターネット時代の文字文化の姿を説明します。なお、この講座では、双方向質疑にインターネット掲示板やFaxを使います。

### ◆八戸大学

講座：21世紀の生活と暮らし－地方からの提言－

テーマ：地域活性化の視点（矢野峰生助教授）②

放送予定：10月19日（金）14：00～15：30

「地方の時代」と言われるようになってから、それぞれの地域が独自の視点で地域振興に力を入れています。様々な分野

において、価値観が多様化し、それに伴って様々なサービスのあり方が求められています。それをもう一度整理し、再考する必要が生じているようです。特に、金融・産業政策、経済社会の変動などを考慮しつつ、多角的・複眼的に地域振興を考えていかなければなりません。八戸の地域を対象事例にして、地域振興策の立案に際して留意すべきことを考えます。

## エル・ネット「オープンカレッジ」 9月放送日（予定）

講座の内容、放送の日時は変更されることがあります。ご了承ください。

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
1日 (土)	群馬県立女子大学 10：00～11：30 『語りかける』①「コンピュータと対話」 黒田 寛（群馬県立女子大学講師）
1日 (土)	筑波大学 14：00～15：10 『家庭と地域の教育力』②「教育政策と教育をめぐる父母の権利」 窪田 眞二（筑波大学教授）
1日 (土)	流通経済大学 16：00～17：30 『ネットワーク社会における商業と物流』④「循環型経済社会における物流の役割」 古井 恒（流通経済大学助教授）
4日 (火)	広島大学 10：00～11：00 『放射線の生物影響』③「動物実験」 渡邊 敦光（広島大学教授）
6日 (木)	中部大学 10：00～11：00 『異文化コミュニケーション』②「笑顔の研究」 小中陽太郎（中部大学教授）
7日 (金)	広島大学 10：00～11：00 『放射線の生物影響』④「放射線の生物作用の二律背反性」 小松 賢志（広島大学教授）
11日 (火)	長崎大学 10：00～11：30 『まちづくりと生涯学習』①「地域活性化とまちづくり」 新田 照夫（長崎大学助教授）
13日 (木)	長崎大学 10：00～11：30 『まちづくりと生涯学習』②「市民参加のまちづくり」 新田 照夫（長崎大学助教授）
14日 (金)	筑波大学 10：00～11：30 『家庭と地域の教育力』③「親と子の心の健康」 庄司 一子（筑波大学助教授）
15日 (土)	図書館情報大学 10：00～11：30 『変容する社会と現代文学』①「変容する家族」（吉本ばなな『キッチン』を中心に）」 黒古 一夫（図書館情報大学教授）
15日 (土)	長崎大学 14：00～15：30 『まちづくりと生涯学習』③「まちづくりの担い手育成事業と新しい生涯学習システムの創造」 新田 照夫（長崎大学助教授）

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
15日 (土)	東京外国語大学（AA研） 16：00～17：10 『アジア－多様な文字へのまなざし』①「東南アジアの諸文字」 峰岸 真琴（東京外国語大学AA研助教授）
18日 (火)	図書館情報大学 10：00～11：30 『変容する社会と現代文学』②「失われた『村』」（立松和平の『遠雷』を読みながら）」 黒古 一夫（図書館情報大学教授）
20日 (木)	群馬県立女子大学 10：00～11：00 『語りかける』②「和歌が何を語りかけるか」 石川 泰水（群馬県立女子大学助教授）
21日 (金)	十文字学園女子大学 10：00～11：30 『女性と情報』③「歴史を女性の視点でみなおす」 皆川美恵子（十文字学園女子大学教授） 溝口 睦子（十文字学園女子大学短期大学講師）
25日 (火)	図書館情報大学 10：00～11：30 『変容する社会と現代文学』③「『20世紀の負の遺産』（林京子の『祭りの場』と原爆文学）」 黒古 一夫（図書館情報大学教授）
27日 (木)	筑波大学 10：00～11：30 『家庭と地域の教育力』④「歴史から見た親子関係と教育」 山内 芳文（筑波大学教授）
28日 (金)	十文字学園女子大学 10：00～11：30 『女性と情報』④「未来をつくる女性と情報」 角田 眞二（十文字学園女子大学助教授） 宮城 道子（十文字学園女子大学助教授）
29日 (土)	図書館情報大学 10：00～11：30 『変容する社会と現代文学』④「『救済』の可能性」（大江健三郎の『宙返り』を読んで）」 黒古 一夫（図書館情報大学教授）
29日 (土)	長崎大学 14：00～15：30 『まちづくりと生涯学習』④「地域生涯学習と大学」 新田 照夫（長崎大学助教授）
29日 (土)	新潟大学 16：00～17：30 『ビジュアル腎臓病 慢性腎不全』①「発見と診断」 下条 文武（新潟大学教授）内山 聖（新潟大学教授） 山本 格（新潟大学教授）

URL: <http://www.opencol.gr.jp>

ですべての講座の詳細情報が得られます

# エル・ネット「オープンカレッジ」 10月放送日（予定）

講座の内容、放送の日時は変更されることがあります。ご了承ください。

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
2日 (火)	東京外国語大学 (AA研) 10:00~11:10 『アジア-多様な文字へのまなざし』②「チベット文字の世界」 星 泉 (東京外国語大学AA研助手)
4日 (木)	札幌学院大学 10:00~11:30 『北の文化-考古学と言語学から-』①「考古学の方法」 鶴丸 俊明 (札幌学院大学助教授)
5日 (金)	武蔵大学 10:00~11:30 『衛星通信利用による武蔵大学公開講座』①「文化人類学とは」 小川 正恭 (武蔵大学教授)
6日 (土)	群馬県立女子大学 10:00~11:30 『語りかける』③「過去」に語りかける-タイムトラベルの謎」 植村恒一郎 (群馬県立女子大学教授)
6日 (土)	跡見学園女子大学 14:00~15:30 『21世紀を考える-「知らない世界」の大きな変化-』①「21世紀に踏み出した中国で-農村探訪-」 池上 貞子 (跡見学園女子大学教授)
6日 (土)	新潟大学 16:00~17:30 『ビジュアル腎臓病「慢性腎不全」』②「病気の成り立ち」 追手 魏 (新潟大学教授) 清水不二雄 (新潟大学教授) 鈴木 芳樹 (新潟大学教授)
9日 (火)	東京外国語大学 (AA研) 10:00~11:10 『アジア-多様な文字へのまなざし』③「文字から見た中央アジアの近現代史」 菅原 純 (東京外国語大学AA研COE非常勤研究員)
11日 (木)	京都工芸繊維大学 10:00~11:30 『ショウジョウバエは飛びつづける-遺伝とゲノム研究の主役-』①「ショウジョウバエ-遺伝学研究のモデル生物-」 山本 雅敏 (京都工芸繊維大学教授)
12日 (金)	武蔵大学 10:00~11:30 『衛星通信利用による武蔵大学公開講座』②「文化の多様性」 小川 正恭 (武蔵大学教授)
16日 (火)	京都工芸繊維大学 10:00~11:30 『ショウジョウバエは飛びつづける-遺伝とゲノム研究の主役-』②「なぜ親に似ない子ができるのか？」 山本 雅敏 (京都工芸繊維大学教授)

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
18日 (木)	札幌学院大学 10:00~11:30 『北の文化-考古学と言語学から-』②「石器と土器からみた北海道の先史時代」 鶴丸 俊明 (札幌学院大学助教授)
19日 (金)	八戸大学 10:00~11:30 『21世紀の生活と暮らし-地方からの提言-』①「海から拓く-八戸市の進展と振興について-」 服部 昭 (八戸大学教授)
19日 (金)	八戸大学 14:00~15:30 『21世紀の生活と暮らし-地方からの提言-』②「地域活性化の視点」 矢野 峰生 (八戸大学助教授)
20日 (土)	八戸大学 10:00~11:30 『21世紀の生活と暮らし-地方からの提言-』③「バリアフリー-観光への挑戦」 大沢 泉 (八戸大学助教授)
20日 (土)	八戸大学 14:00~15:30 『21世紀の生活と暮らし-地方からの提言-』④「高齢社会とコミュニティ」 前山総一郎 (八戸大学教授)
20日 (土)	新潟大学 16:00~17:30 『ビジュアル腎臓病「慢性腎不全」』③「治療の現状」 高橋 公太 (新潟大学教授) 下条 文武 (新潟大学教授)
23日 (火)	跡見学園女子大学 10:00~11:30 『21世紀を考える-「知らない世界」の大きな変化-』③「歌舞伎の復権」 小池章太郎 (跡見学園女子大学教授)
25日 (木)	京都工芸繊維大学 10:00~11:30 『ショウジョウバエは飛びつづける-遺伝とゲノム研究の主役-』③「野に下った万物の霊長-生物進化とゲノム研究-」 山本 雅敏 (京都工芸繊維大学教授)
26日 (金)	武蔵大学 10:00~11:30 『衛星通信利用による武蔵大学公開講座』③「文化の変化と適応」 小川 正恭 (武蔵大学教授)
30日 (火)	跡見学園女子大学 10:00~11:30 『21世紀を考える-「知らない世界」の大きな変化-』③「アメリカ社会のジェンダー像の変化」 クリストファー・ドレイク (跡見学園女子大学教授)

## ◆テキスト申込書◆

※テキストはホームページ (URL:<http://www.opencol.gr.jp>) からPDFファイルでダウンロードすることも可能です。

ふりがな ご氏名	電話	—	—	FAX	—	—
ふりがな ご住所 〒						Eメールアドレス

■開 講 平成13年7月~平成14年2月 46大学/53講座 ■受講料 無料

■テキスト代 実費 (送料別)。ただし1講座につき100名までモニターとして無料 (送料共) となります。

●受講希望の大学名・講座名・回数をご記入ください。テキストは実施講座ごとに作成します。(講座の全ての回を希望する場合は全回とご記入下さい)

大学名	講座名	回数
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

FAX送付先：03-3595-1297

